

商工会女性部はまちに
元気と安心をお届けしています。

はちみつ 通信

コロナ退散の願いを込めて
縫い上げたアマビエ御守。
わずか40分で完売

大口町商工会女性部(愛知県)



愛知県の北西部に位置し、まちの中
央を流れる五条川の桜が「日本さくら
名所100選」に選ばれている風光明
媚なまち、大口町。そこが大口町商工
会女性部の活動の地です。

例年のおもな活動は、社会奉仕活動
とイベント運営で、地域の活性化に寄
与してきました。ところが昨年度、新
型コロナウイルス感染症の影響により、
これらの事業がすべて中止となってし
まいました。

役員が新しくなったなかでの出来事
で、「コロナで何もできない、そうだ
としても動かなくちゃ」と新役員一同
で考えたのが、「妖怪アマビエ」をか
たどった疫病退散の御守づくりです。
コロナ感染防止の注意喚起に役立てて
もらおうと、試行錯誤の末、可愛らし
いアマビエ御守をつくり上げました。
一針ずつ心を込めて縫い上げ、仕上げ
に大口町のシンボルの桜の花を髪に飾
って、女性部らしさと地元感を出して

手芸商品製作事業で
地域の使われなくなった
資源に新たな価値をプラス
豊岡市商工会女性部(兵庫県)



01/バンダナキャップの「かぶら
ー」 02/帯でつくった布鞆 03/
浴衣でつくったエコスリッパ 04
/流木を生かした照明「和みの灯り」
は商工会の入り口にも



個数限定で製作したアマビエ御守

います。
この活動は地元新聞にも取り上げられ、御守を町内の大型店で販売したところ、新聞を見て売り出し前から待っていてくださった方までおり、限定50個の御守はわずか40分で完売。収益金は、大口町社会福祉協議会へ寄付しました。この反響を糧に、今後も私たちのできるカタチで笑顔を絶やさずに活動を続けていきます。



社会福祉協議会の社本会長(左)へ、収益金を手渡す女性部メンバー

兵庫県北東部に位置する豊岡市は人口約7・7万人の農林水産業、観光業などが盛んな地域です。
豊岡市商工会は5つの商工会が合併して誕生し、12年目を迎えました。女性部では、合併2年目に「女性部活動の中核になるものを」との思いから、地場産業の但馬ちりめんを使用したバندانキヤップ「かぶらー」(但馬弁で「被ろう」という意味)の製作を開始しました。当初は、女性部事業でトレードマークとして部員が着用するほか、給食当番用に小学校への寄贈や、老人ホームで「かぶらー作り講習会」などを実施していました。
また、地元のイベントで販売したところ、「スポッと楽に被れて頭へのフィット感もよく、和柄でオシャレ!」と好評で、完売となりました。これを機に、本格的に商品化を進め、現在ではチェックやドット柄などを揃え、地元の道の駅で販売しています。
このほか、地元の竹野海岸で拾った流木を組んで和紙を貼った「和みの灯り」、貝殻でつくったストラップ、着なくなった浴衣を使った「エコスリッパ」、不要になった帯でつくった「布靴」などのオリジナル手芸商品の数々も販売してきました。これらの商品はリピーターも多く、収益は女性部事業



女性部のメンバー

の活動費にあてています。
この取り組みは、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」にも関連しており、廃品を再利用することで、廃棄物の削減にもつながります。今後も、女性ならではのアイデアで地元の廃品を再利用した手芸作品に挑戦し、販売活動を続けていきたいと思っています。